

# 石 山

発行所 札幌市立石山中学校  
発行者 網 島 七 恵  
住 所 南区石山2条8丁目7-1  
電 話 011-591-8853

## 「令和7年度 3学期始業式の言葉」

校長 網島 七恵

令和8年、新しい年の始業式を、こうして皆さんと迎えられたことを大変うれしく思います。今年もどうぞよろしくをお願いします。

さて、2026年の干支は、60年に一度めぐってくる「丙午（ひのえうま）」です。「火」のエネルギーが重なる年で、情熱や行動力が高まり、物事が大きく動き出す年だと言われています。新しいことに挑戦したり、一歩踏み出したりするには、とても良い年です。ただし、勢いが強い分、冷静さや考える力も大切になる年でもあります。

先ほど、代表の増田さんが3学期に向けての決意を、反省を踏まえ、規則正しい生活について述べてくれましたが、特に受験に向かう3年生には栄養、睡眠、ほどよい運動はとても大切です。皆さん一人ひとりにとっても、今年が大きく成長し、飛躍できる一年になることを心から願っています。

私は今年、年女でもあり、この一年をどう過ごすか、そして、これからどんな人生を歩んでいきたいのかを改めて考える機会がありました。そんなときに大切だと思ったのが、「原点に立ち返り、自分自身を見つめ直すこと」です。人には、「三つの自分」があると言われています。

一つ目は、「見る自分」。これは、学び続ける自分です。見たり、聞いたり、読んだり、感じたりすることすべてが学びです。学び続ける人は、美しいものに感動し、優しさに気づき、人としての感性が磨かれていきます。冬休み中にある先生のコンサートを見せていただき、自分の道を極め、学び続けるその姿を美しいと感じ、感動しました。

二つ目は、「見られる自分」。これは、反省する自分です。自分の言動が、相手にどう伝わったか、どう受け取られたか、相手の立場に立って考えることです。イギリスの名作『十五少年漂流記』には、「失敗そのものが恥なのではない。失敗して、それをごまかしたり、嘘をついたりすることこそが、最も恥ずかしいことだ」という言葉があります。失敗から学べる人であってほしいと思います。

三つ目は、「なりたい自分」です。これは、自分らしさであり、夢や目標につながるものです。例えば、「人前で自信をもって話せるようになりたい」「緊張しない自分になりたい」など、具体的に思い描き、どうすれば近づけるかを考えることで、確実に前に進むことができます。

今日から始まる 3 学期は短いですが、一年のまとめであり、次につながる大切な学期です。「今、自分は  
何をすべきか」冷静に判断し、ぜひ行動に移していきましょう。

最後に、3 年生の皆さんへ。いよいよ受験が目前に迫ってきました。すでに進路が決まった人もいますが、  
焦る必要はありません。大切なのは、「なりたい自分」の姿に向かって、まっすぐ進むことです。一人で不安を  
抱え込まず、仲間と声をかけ合い、励まし合いながら、チームとして力を高めていってください。

今年の干支「丙午（ひのえうま）」にあやかり、これまで積み重ねてきた努力が、大きな前進と飛躍につな  
がる 3 学期になることを願っています。あと一歩、もう一歩と自分の足で前へ進んでいきましょう。

（三学期始業式 校長講話より）

## 「二学期の反省と三学期の豊富」

1 年 2 組 増田 誠太郎

私の二学期の反省点は二つあります。

一つ目は、学習面です。11 月に行われた定期テストでは、自分がたてた目標の点数を下回ってしまいま  
した。そうってしまった原因は、テスト勉強への臨む気持ちがゆるんでいたからだと思います。三学期では、  
テスト勉強の計画を細かく立てて、目標点数に届くよう計画的に勉強したいです。

二つ目は、家庭での過ごし方です。夜遅くまでおきていて十分な睡眠時間がとれず、朝なかなかおきられ  
ずに寝坊をして学校に遅刻しかけることもありました。また、家のお手伝いも積極的にできませんでした。三  
学期では、不規則な生活を改めて、家でのお手伝いも率先してできるようにしたいです。

三学期は、先ほど挙げた二学期の反省点をしっかりと見つめなおし、もう一度繰り返すことのないよう注  
意して過ごしたいです。また、三学期を終えると自分たちは、二年生へと進級し、新一年生が入学してきます。  
そして、自分たちはそのお手本とならなければなりません。そのためには、三学期のうちから学校内での生活  
を改めて良い形で二年生へと進級できるようにしたいです。

### あなたの相談先は？

家族や友人、先輩、先生、スクール  
カウンセラーのほか、下記の相談窓口  
も、あなたをサポートしてくれます。

【電話での相談窓口 ※通話料無料】

○いじめ電話相談（少年相談室）

TEL0120-127-830

○24 時間子供 SOS ダイアル

TEL0120-0-78310

○子どもアシストセンター

TEL0120-66-3783

【メール、LINE での相談窓口】

○子どもアシストセンター

メール: assist@city.sapporo.jp

LINE :



【虐待に関する相談※通話料無料】

○虐待対応ダイヤル

TEL 局番なし 189（いちばやく）

### 子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・  
しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。



センターWebページ



#### ●電話相談

0120-3882-56

（無料、毎日 24 時間対応）

#### ●メール相談

doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

※急ぎの場合は電話相談を利用してください

#### ●来所相談

（10～16時、土日・祝日、年末年始はお休みです。）

子ども相談支援センター

札幌市中央区北 3 条西 7 丁目道庁別館 8 階

※上記の電話相談で予約してください。

※ センターの Web ページに、「子ども相談支援センターへの相談事例」  
を掲載しています。次の URL からご覧ください。

URL : <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/soudanjirei.pdf>